

大館・城南小 **曲げわっぱで給食 楽しみ** 児童が「飯器」制作



大館市の城南小学校の4年生約50人が13日、同校で曲げわっぱの食器の制作を体験した。地元の伝統工芸品に親んでもらおうと、市教育委員会が2013年から実施している「曲げわっぱ学校給食活用事業」の一環。

児童が制作したのは、給食の際にご飯を入れる「飯器」。同市の曲げわっぱ製造販売・栗久のスタッフ6人が講師を務めた。

本体に接着剤を付けて底板を慎重にはめ込み、木づちでたたいて固定した。スタッフは「中途半端にならないようにきっちりはめ込もう」とアドバイス。はみ出た接着剤を拭き取った後はドライヤーで乾かし、最後はやすりをかけて仕上げた。

飯器は栗久がいったん預かり、ウレタン塗装を施した後で10月ごろをめぐりに児童の手に渡る。学校では、11、12月に4回ほど給食で使用する予定。

成田悠衣斗さん(9)は「隙間がないように接着するのが難しかった。飯器で給食を食べるのが楽しみ。家でも毎日使いたい」と話した。(間杉大旗)